

第2回
長瀬町小中一貫教育
検討委員会

開催：令和6年8月29日



本日の 主な内容

1. 学校施設の劣化状況等について
2. アンケート調査結果について

1. 学校施設の劣化状況等について

基準年:2024年

| 施設名 | 建物名 | 構造 | 建築年数 | 経過年数 | 屋根屋上 | 外壁 | 内部仕上 | 電気設備 | 機械設備 | 健全度(100点) |
|---------|----------------|------|------|------|------|----|------|------|------|-----------|
| 長瀬第一小学校 | 校舎 | RC造 | 1977 | 47 | C | C | C | C | C | 40 |
| | 体育館 | RC造 | 1978 | 46 | B | C | C | C | C | 43 |
| 長瀬中学校 | 校舎 | RC造 | 1972 | 52 | B | B | C | C | C | 53 |
| | 技術棟 (特別教室棟) | RC造 | 1979 | 45 | B | D | D | C | C | 23 |
| | 体育館 | RC造 | 1970 | 54 | B | B | C | C | C | 53 |
| | 剣道場 | SRC造 | 1984 | 40 | B | B | C | C | C | 53 |
| | 卓球場 (柔道場) | 木造 | 1995 | 29 | B | B | B | B | B | 75 |

■屋根・屋上、外壁の評価基準

A:概ね良好

B:部分的に劣化

C:広範囲に劣化

D:早急に対応する必要がある

■内部仕上げ、電気・機械設備の評価基準

A:20年未満

B:20年～40年

C:40年以上

D:経過年数に関わらず著しい劣化事象がある

■長瀬第一小学校



校舎



屋上：防水工事中

- ・R2年：東側廊下屋上防水改修工事実施
- ・R3年：屋上防水工事実施
- ・R6年：漏水事故発生により防水工事中



↑ **パラペットのき裂、損傷**



↑ **塗膜防水の剥離**



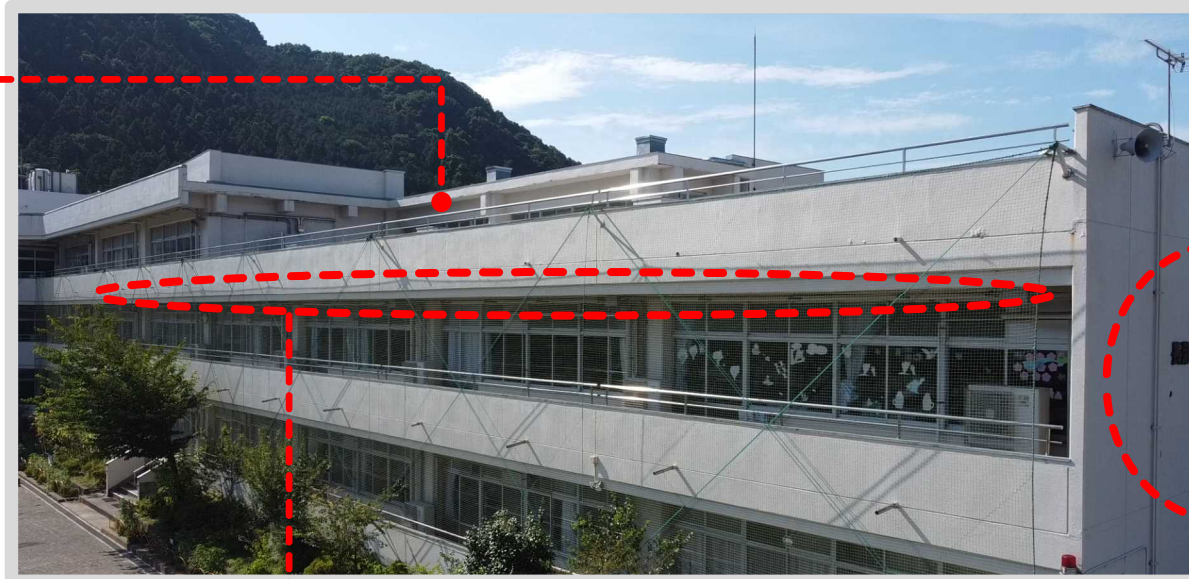
↑ **廊下：天井の漏水**



↑ **草木の繁茂**



校舎裏：外壁の汚損



軒裏：塗装の剥離、剥落



塗装の剥離



塗装の剥離、剥落



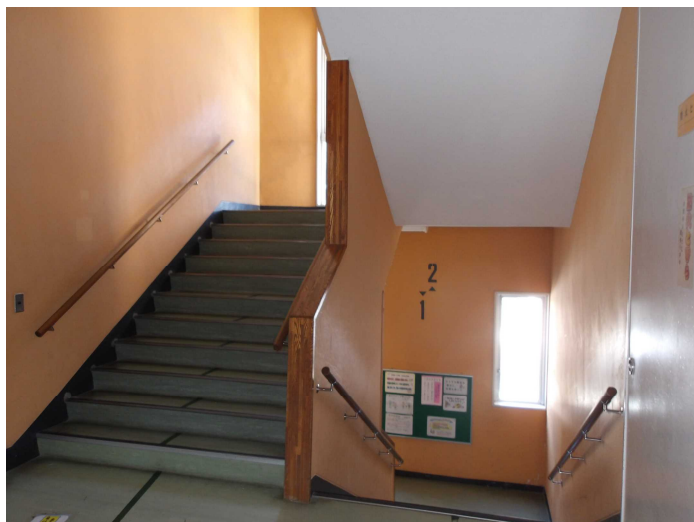
廊下



廊下：天井の漏水



廊下：天井の漏水



階段室



内壁：塗装の剥離、剥落



教室



教室：天井の漏水



教室：天井の漏水

□体育館



屋根



外壁の汚損



館内天井



内壁：塗装の剥離、剥落

■長瀬中学校



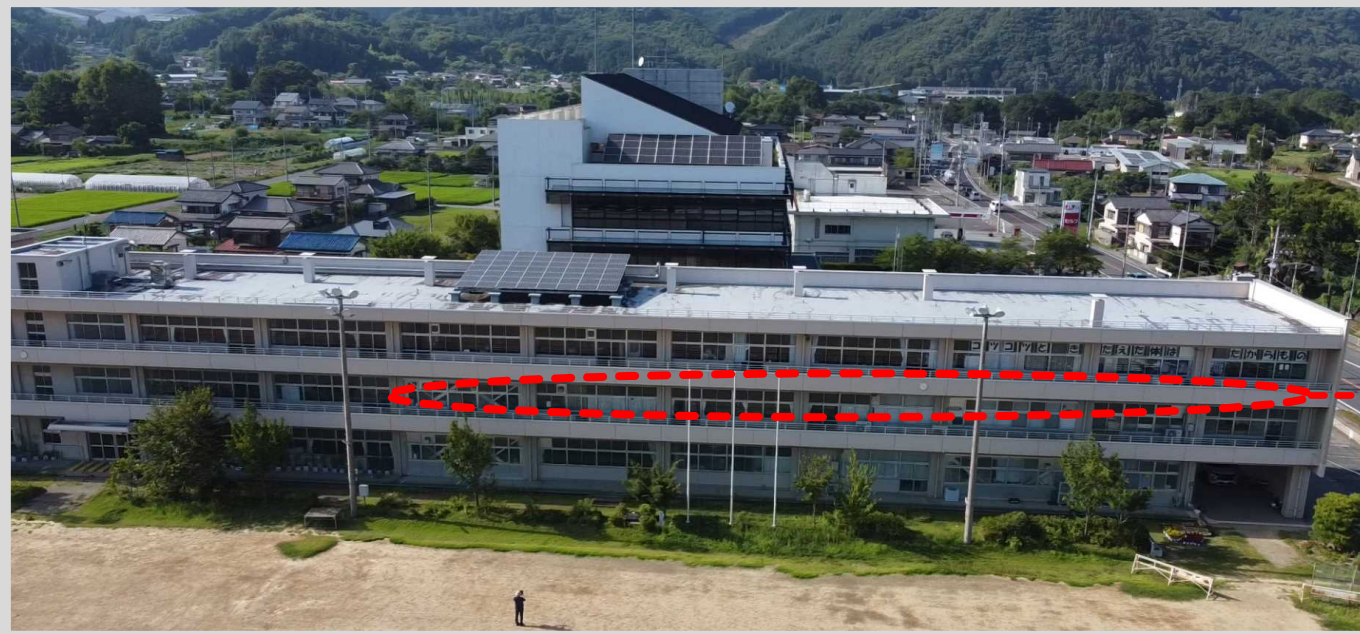
校舎



屋上：防水層の汚損



パラペットのき裂



軒裏：塗装の剥離、剥落



昇降口階段



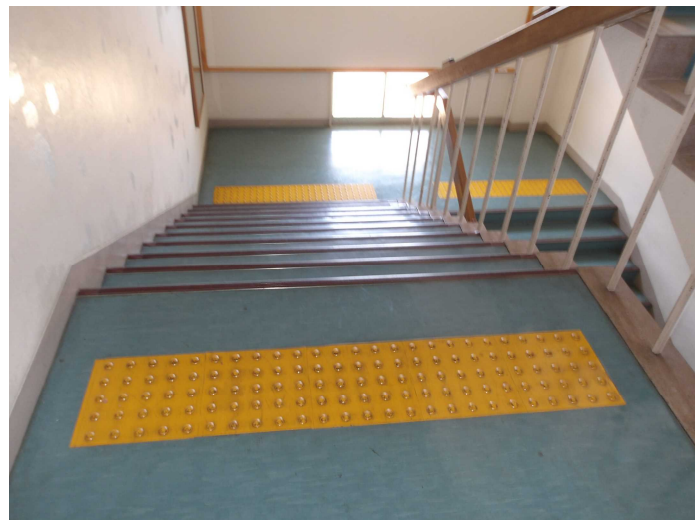
外壁の白華



階段裏：塗装の剥離、剥落 14



廊下



階段室

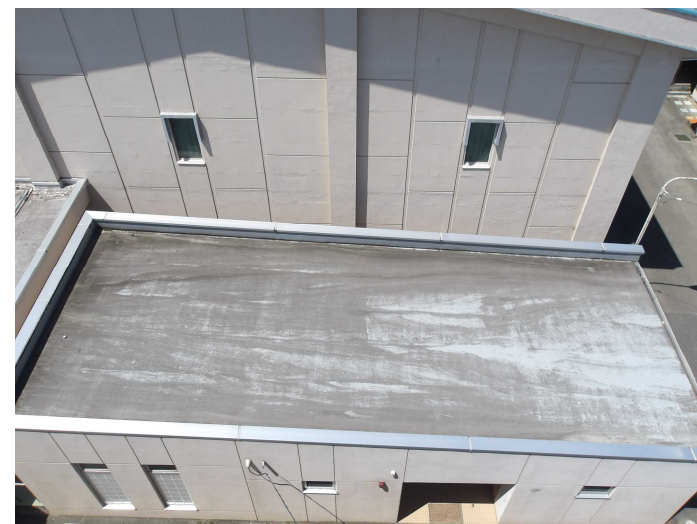


教室

□体育館



屋根



防水層の汚損



館内天井



ステージ裏：床材の欠損

□技術棟(特別教室棟)



屋上



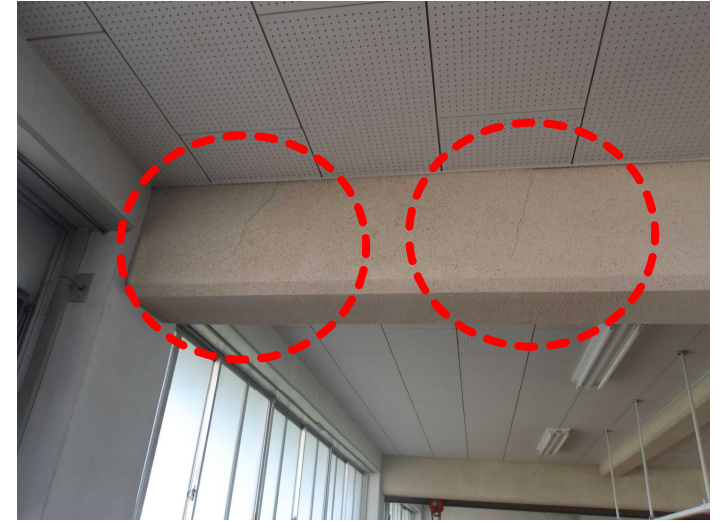
外壁の変形、浮き



軒裏：塗装の剥離、漏水痕



階段裏：鉄筋の露出、漏水痕



教室：梁のき裂



男子トイレ：内壁タイルの浮き

2. アンケート調査結果について

調査内容:小中一貫教育について

調査対象:保護者及び地域住民(1,009人)

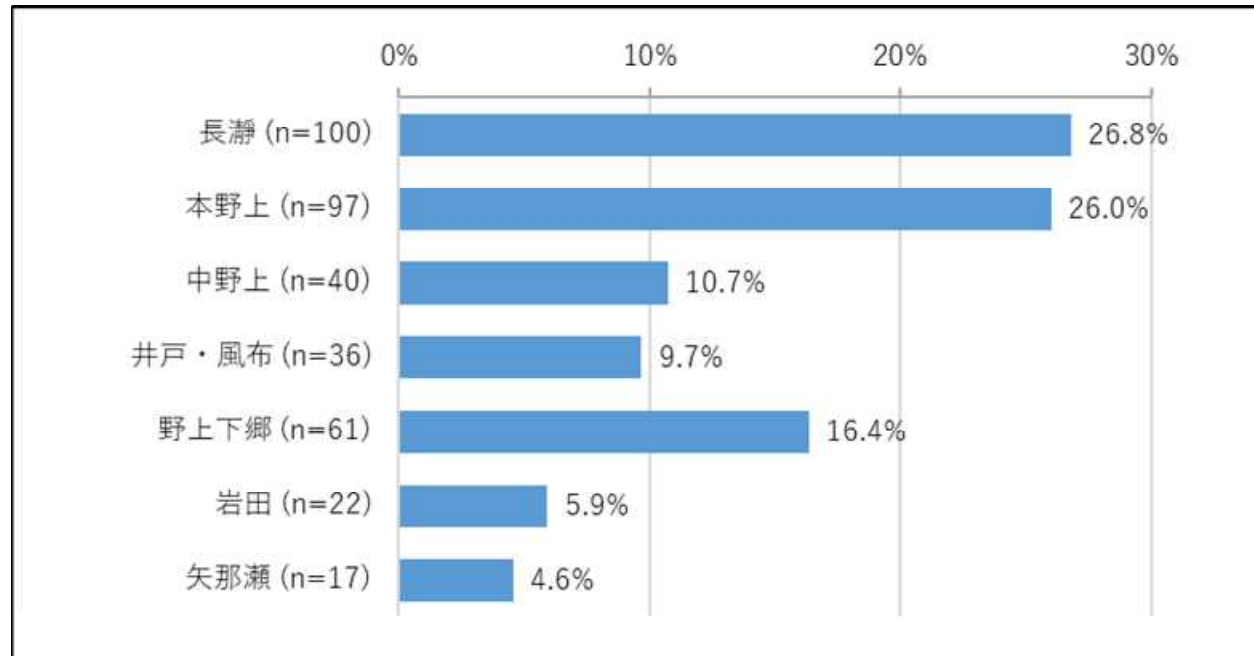
調査方法:Web及び記入式

調査期間:令和6年7月17日(水)～令和6年8月2日(金)迄

回収率:37.0%(373/1,009)

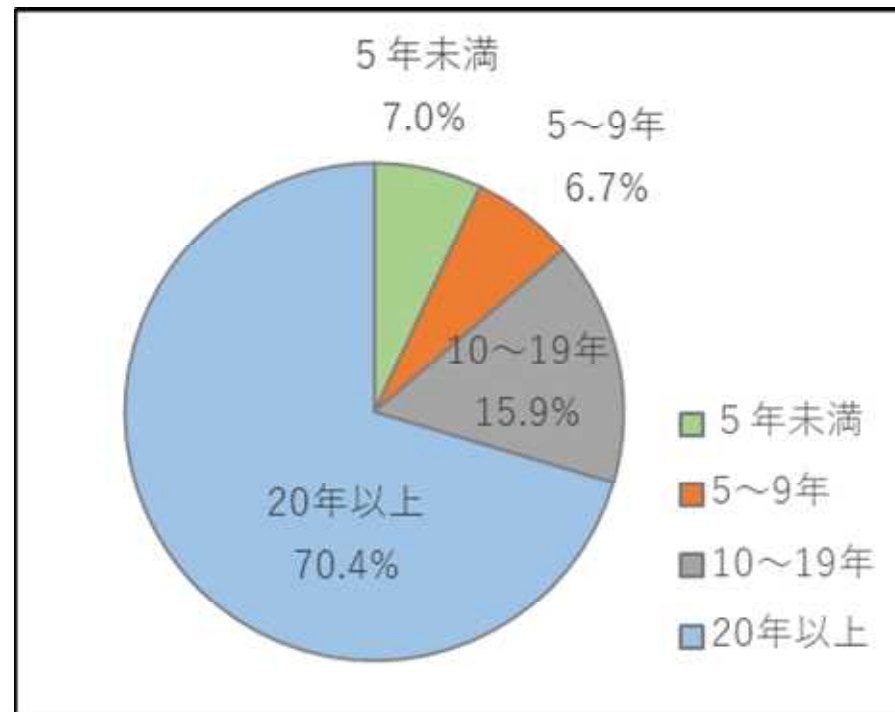
設問1. お住まいの地域を選択してください。

有効回答数373件のうち、住まう地域で最も多いのは、「長瀬」の100件(26.8%)、次に「本野上」の97件(26.0%)、「野上下郷」の61件(16.4%)の順となっています。



設問2. 長瀬町での居住年数を選択してください。

有効回答数372件のうち、居住年数で最も多いのは、「20年以上」の262件(70.4%)で、次に「10～19年」の59件(15.9%)、「5年未満」の26件(7.0%)の順となっています。

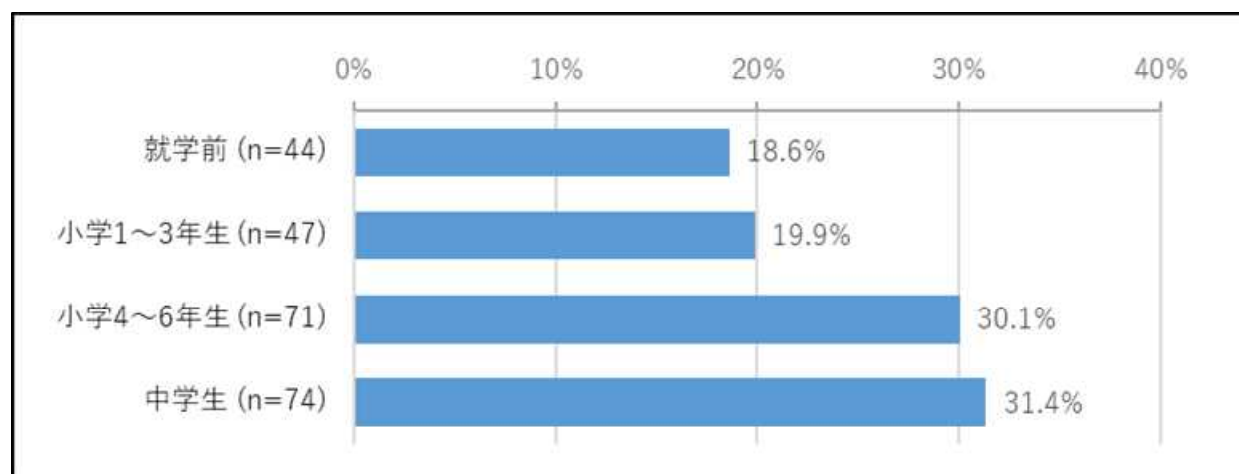


設問3. お子さんの学年を教えてください。

2人以上お子さんがいる方は、該当するものすべてを選択してください。

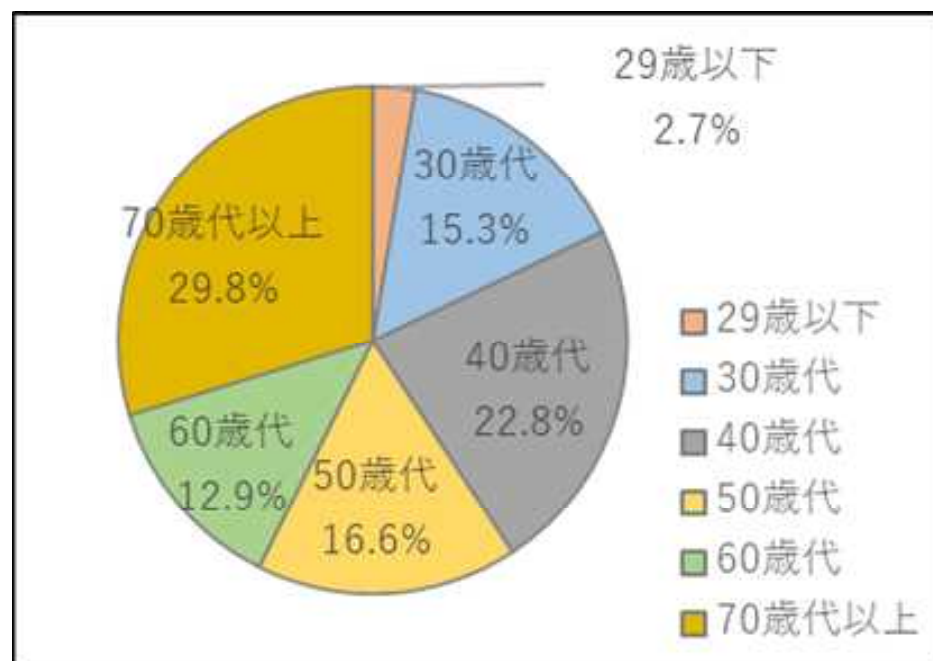
有効回答数236件のうち、子どもの学年で最も多いのは、「中学生」の74件(31.4%)、次に「小学4～6年生」の71件(30.1%)、「小学1～3年生」の47件(19.9%)の順となっています。

また、小学4年生以上の子どもと4年生以下の子どもの割合を見ると、4年生以下の子どもは20%以上子どもが少なくなっており、少子化の進行が進んでいます。



設問4. ご回答いただいている方の年齢を選択してください。

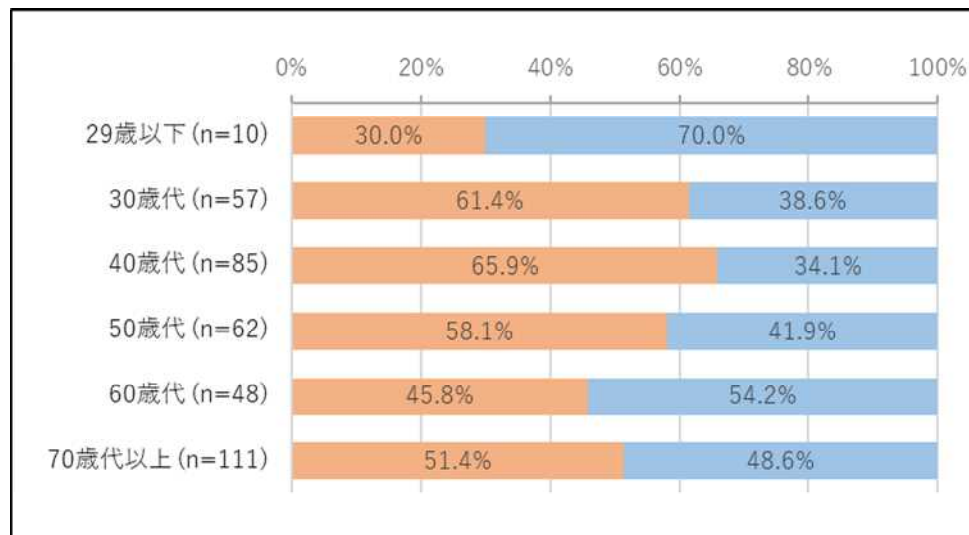
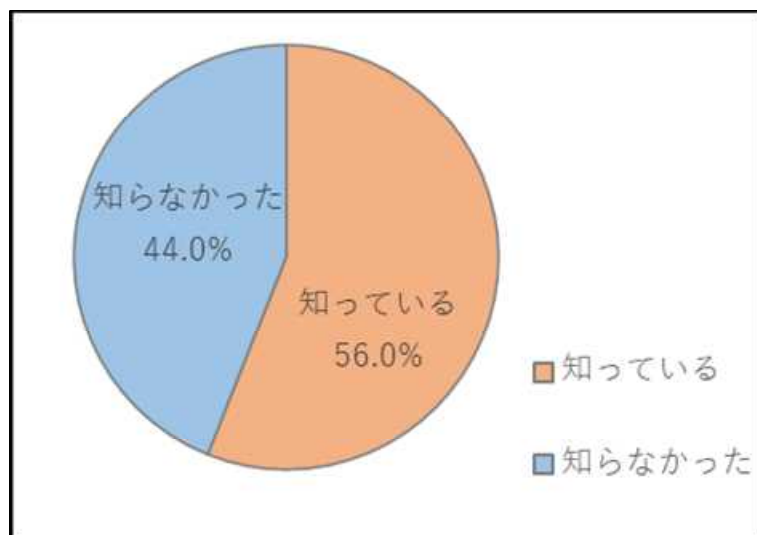
有効回答数373件のうち、回答者の年齢で最も多いのは、「70歳代以上」の111件（29.8%）、次に「40歳代」の85件（22.8%）、「50歳代」の62件（16.6%）の順となっています。なお、「29歳以下」の若い世代の回答は10件（2.7%）でした。



設問5. 小学校から中学校までの9年間を通じて、教育内容の連携や教育目標の統一を図る一貫教育に向けた取り組みが検討されていることを知っていますか。

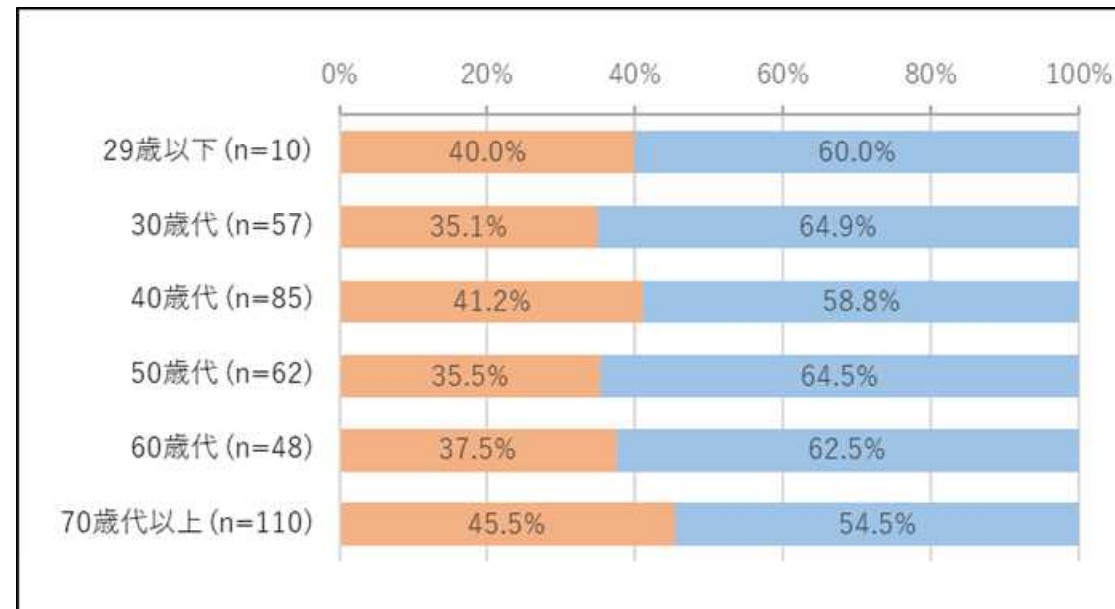
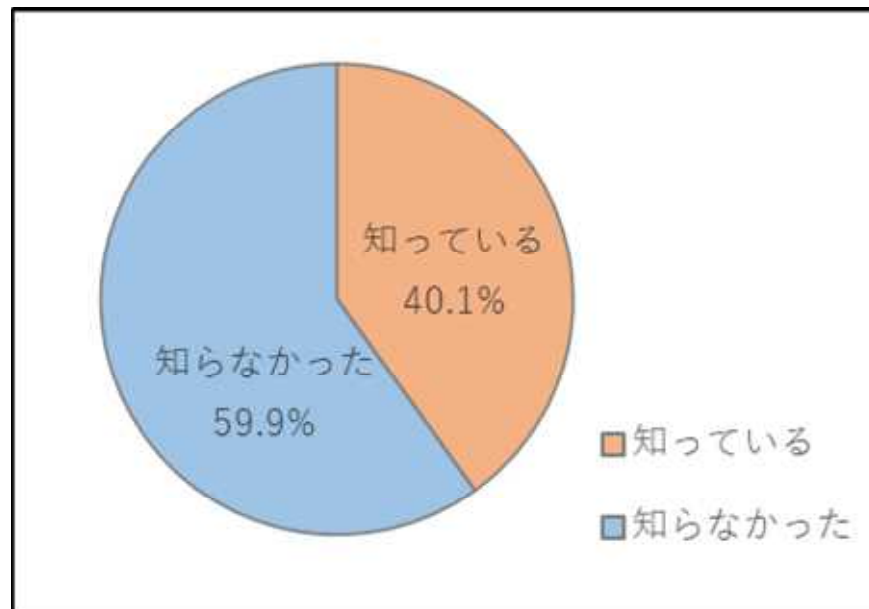
有効回答数373件のうち、一貫教育に向けた取り組みを「知っている」が209件(56.0%)、「知らなかった」が164件(44.0%)でした。

回答者を年齢別にみると、30歳代から50歳代と義務教育期間の子どもがいると思われる世代の認識が6割程度と、全年代のなかでも高いことがわかりました。また、最も認識が低いのは、29歳以下の30%と、子どもの年齢が就学に達していないと思われる世代でした。



設問6. 小中一貫教育の基本形態として、「義務教育学校」と「小中一貫型小・中学校」があることを知っていますか。

有効回答数372件のうち、小中一貫教育の形態を「知っている」が149件(40.1%)、「知らなかった」が223件(59.9%)でした。
回答者を年齢別にみても、全世代の認識に大きな偏りはありませんでした。



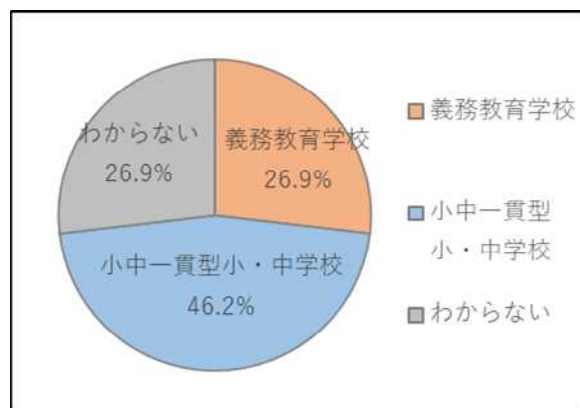
設問7. 長瀬町で小中一貫教育を実施する場合、「義務教育学校」と「小中一貫型小・中学校」のどちらがふさわしいと思いますか。

有効回答数372件のうち、長瀬町の小中一貫教育としてふさわしいと思うのは、「小中一貫型小・中学校」の172件(46.2%)、「義務教育学校」と「わからない」が同数で100件(26.9%)でした。

回答者を年齢別にみても、全年代で「小中一貫型小・中学校」を選ぶ割合が高くなっています。

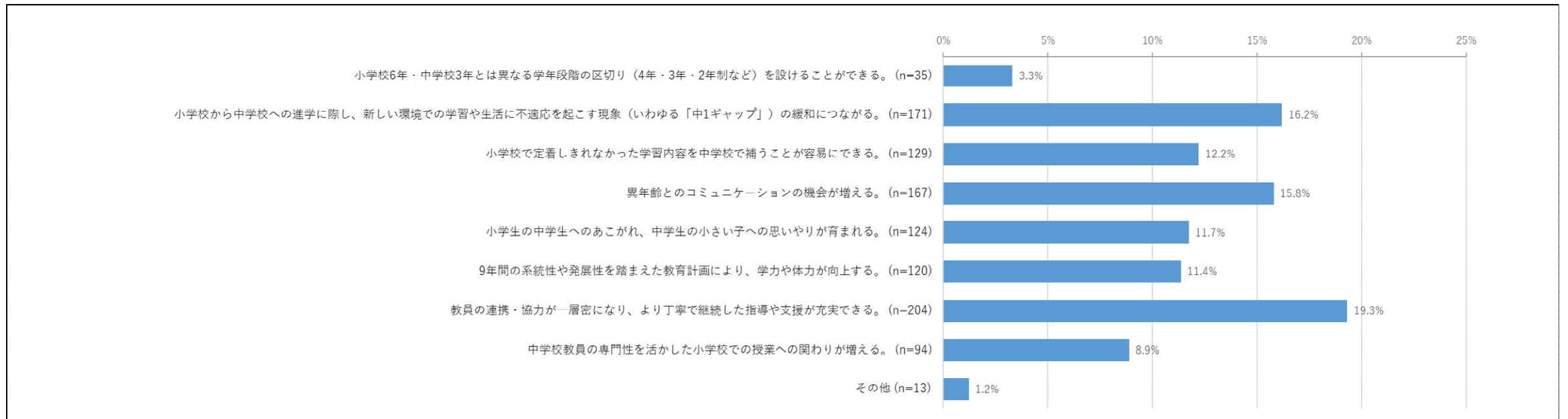
また、全体意見では「義務教育学校」と「わからない」が同数でしたが、回答者を年齢別にみると、40歳代から50歳代で「義務教育学校」を選ぶ割合が低くなっています。これは、親の年齢からみて、子どもは高学年と思われ、子どもの就学中に学校の運営体制が変わることに何らかの不安があるものと推察されます。

なお、就学前の子どもがいると思われる29歳以下の7割が、「小中一貫型小・中学校」を選んでいきます。



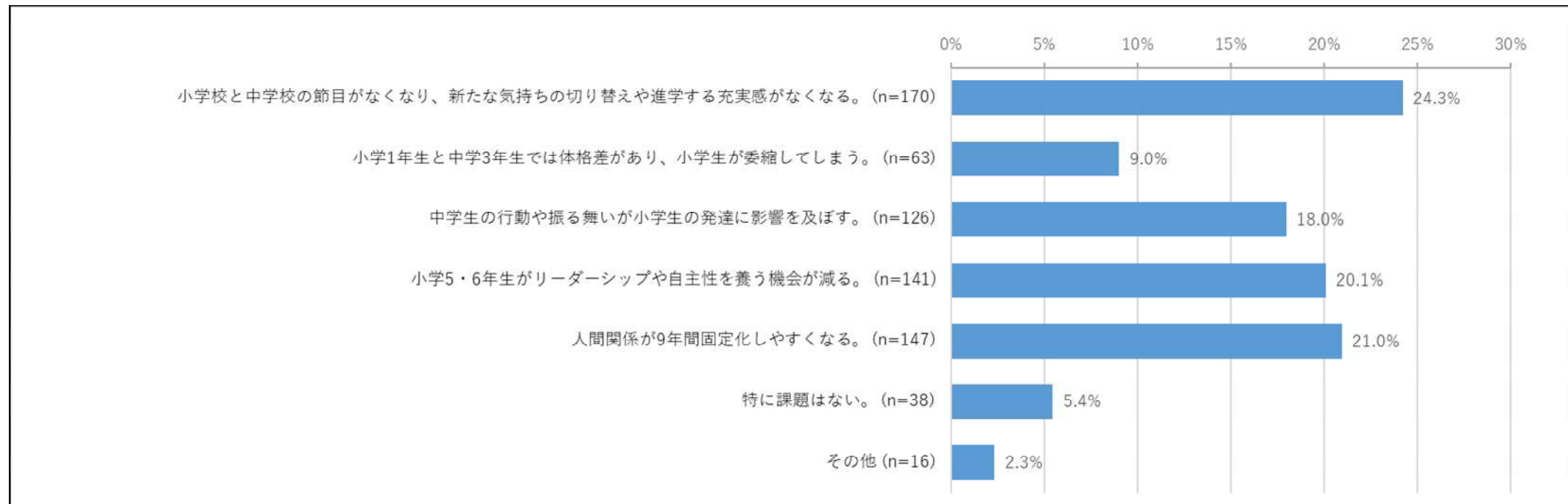
設問8. 小中一貫教育の実施にあたり、どのようなことを期待しますか。 3つ選択してください。

有効回答数1,057件のうち、小中一貫教育で期待することで最も多いのは、「教員の連携・協力が一層密になり、より丁寧で継続した指導や支援が充実できる。」の204件(19.3%)、次に、「小学校から中学校への進学に際し、新しい環境での学習や生活に不適應を起こす現象(いわゆる「中1ギャップ」)の緩和につながる。」の171件(16.2%)、「異年齢とのコミュニケーションの機会が増える。」の167件(15.8%)の順となっています。



設問9. 小中一貫教育の実施にあたり、どのような課題があるとお考えですか。 2つ選択してください。

有効回答数701件のうち、小中一貫教育の課題で最も多いのは、「小学校と中学校の節目がなくなり、新たな気持ちの切り替えや進学する充実感がなくなる。」の170件(24.3%)、次に、「人間関係が9年間固定化しやすくなる。」の147件(21.0%)、「小学5・6年生がリーダーシップや自主性を養う機会が減る。」の141件(20.1%)の順となっています。

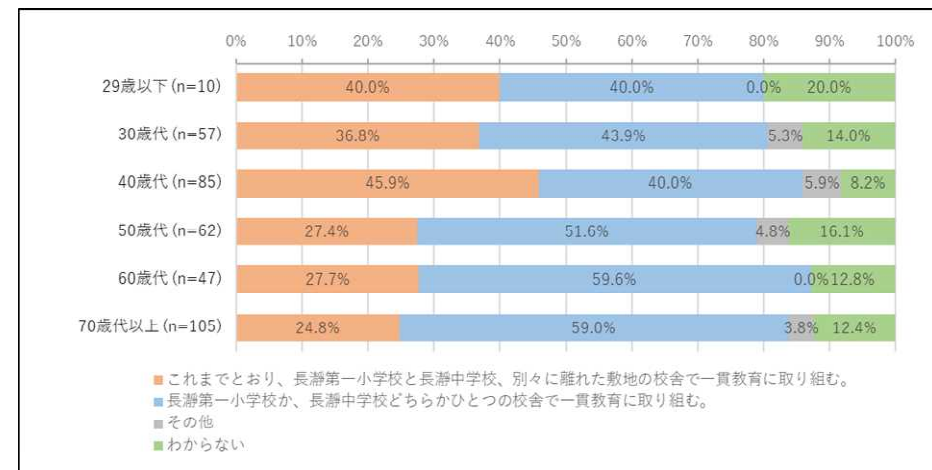
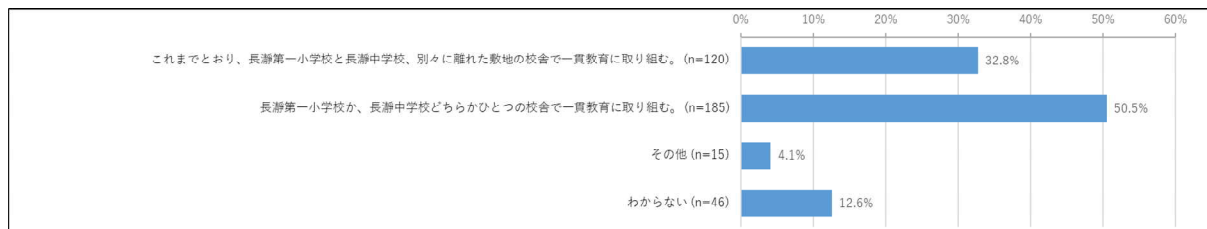


設問10. 9年間を通じた小中一貫教育の実施にあたり、どのような施設形態がふさわしいと思いますか。

有効回答数366件のうち、小中一貫教育の施設形態で最も多いのは、「長瀬第一小学校か、長瀬中学校どちらかひとつの校舎で一貫教育に取り組む。」の185件(50.5%)、次に、「これまでとおり、長瀬第一小学校と長瀬中学校、別々に離れた敷地の校舎で一貫教育に取り組む。」の120件(32.8%)、「わからない」の46件(12.6%)の順となっています。

回答者を年齢別にみると、全世代を通して、「どちらかひとつの校舎」を選ぶ傾向にあり、50歳以降では、「これまでとおり」より、「どちらかひとつの校舎」を選ぶ方が約2倍の結果となりました。

なお、その他の意見として、「同じ敷地に別々の校舎」や、「校舎の修繕にも費用がかかるので建替えを検討する」などの意見が寄せられています。

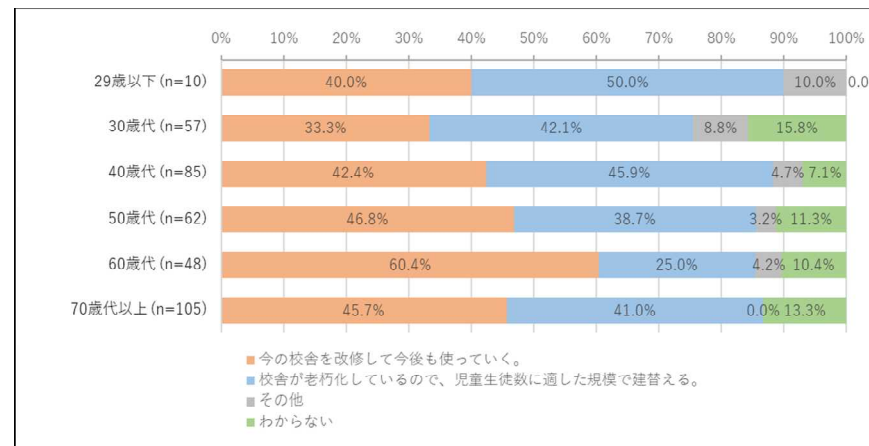
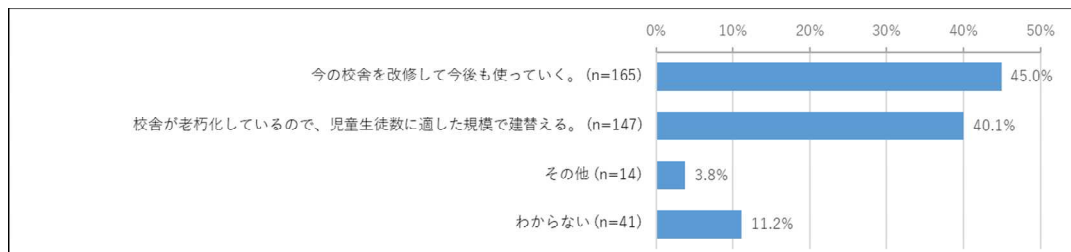


設問11. 小中一貫教育の実施にあたり、校舎の整備はどのような形がふさわしいと思いますか。

有効回答数367件のうち、小中一貫教育の校舎整備で最も多いのは、「今の校舎を改修して今後も使っていく。」の165件(45.0%)、次に、「校舎が老朽化しているので、児童生徒数に適した規模で建替える。」の147件(40.1%)、「わからない」の41件(11.2%)の順となっています。

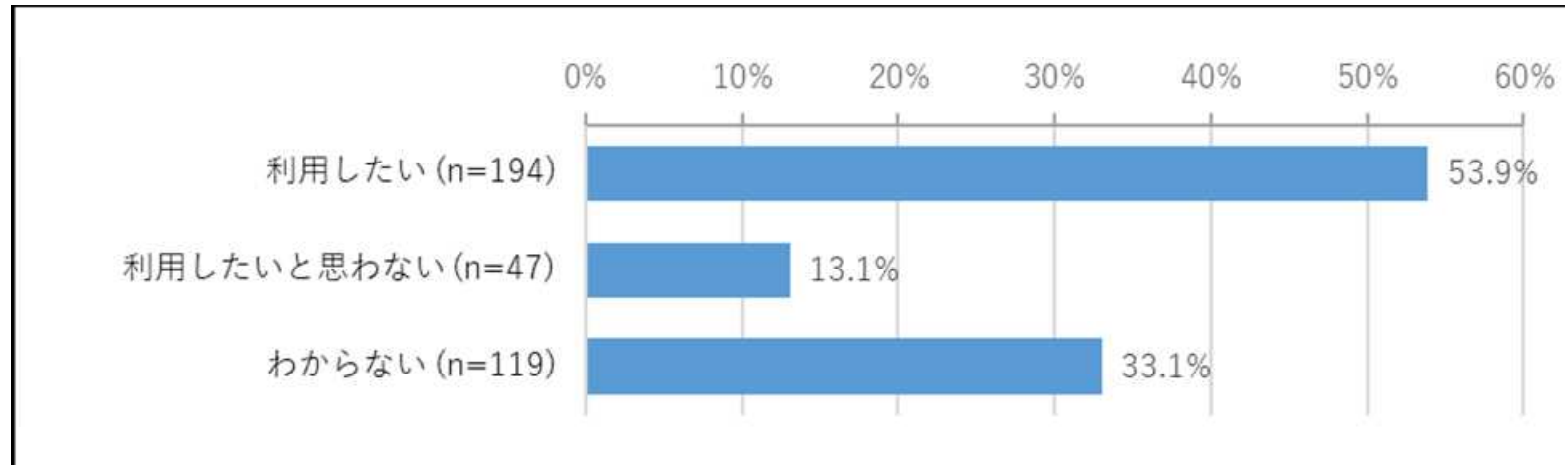
回答者を年齢別にみると、40歳代までは、「建替え」の意向が高く、50歳代以降で「改修」の意向が高くなっています。

なお、その他の意見として、「コストを考慮して検討すべき」や、「避難所の機能を兼ね備えた施設として建替え」、「オフィスや商店、福祉など、学ぶことができる施設と複合化して建設」などの意見が寄せられました。



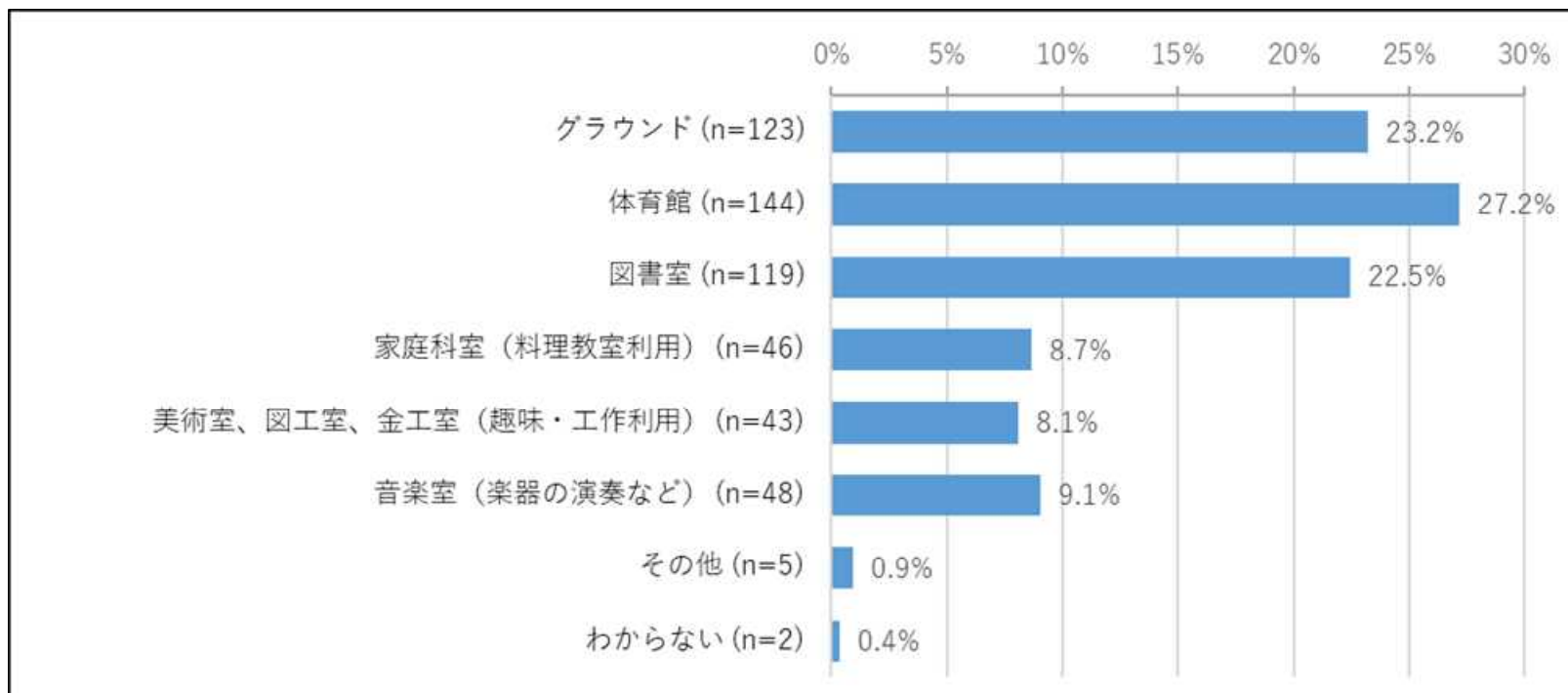
設問12. 地域に開けた学校施設に向けて、学校施設を学習や交流の場として地域住民に開放したら利用したいと思いますか。

有効回答数360件のうち、学校施設の地域開放で「利用したい」が194件(53.9%)、「利用したいと思わない」が47件(13.1%)となっています。



設問13. 設問12で、①学校施設を利用したいと回答した方にお尋ねします。 どの施設を利用したいと思いますか。3つ選択してください。

地域開放で学校施設を利用したいと回答した方(有効回答数530件)のうち、最も多いのは、「体育館」の144件(27.2%)、次に、「グラウンド」の123件(23.2%)、図書館の119件(22.5%)の順となっています。



設問14. 自由意見

■一貫教育に関する意見

- ・少子化が進み学校規模も小さくなっていくので、せめて質の高い教育環境を整えてほしい。
- ・第二小学校の卒業生ですが閉校となり寂しく思います。学校を閉校にしない小中一貫型に賛成です。
- ・一貫教育は中学校校舎が妥当である。中学校を改修している間、第一小学校を仮校舎としてはどうか。
- ・一貫校となったら電車通学になるのか。
- ・電車通学となったら最寄り駅に無料の駐輪場を整備してほしい。
- ・一貫校にするのであれば、送迎や保護者用の駐車場を整備してほしい。
- ・一貫教育の検討は、実践校を訪問して現場の意見を聴きながら検討を進めてほしい。
- ・小中学校は別々がよい。いじめが9年間続いたら大変。いじめに対応する教員がいると良い。
- ・小学生と中学生が同じグラウンドを利用するのに不安を感じる。

■地域開放に関する意見

- ・児童生徒が減少しているので、学校施設を地域活用しながら全町で盛り上げていくことが必要と思う。
- ・給食センターや図書館、スポーツ施設、公民館等が学校と複合化し、地域とともにある学校づくりを進めてほしい。
- ・学校施設が様々なことに触れる機会を生み出す施設になることを期待する。学習塾やスイミングなど習い事もあると親と子が関わる時間も増えると思う。
- ・体育館は、地域住民の利用も考慮した規模で建替えを希望する。
- ・学校施設の地域開放の際は、送迎も検討してほしい。
- ・学校施設の地域開放の際は、教えてくれる先生(指導者)もほしい。
- ・学校施設の地域開放は子どもの危険が増えるので反対である。
- ・児童が学校にいる時間帯に学校施設を開放するのは慎重に検討すべきである。
- ・学校施設が開放されれば利用したいと思うが、開放したことで事故や事件が起きないか心配である。
- ・現在の体育館がなくなる(減る)と利用団体の間で競争になるなど影響が大きい。